

岡野賞（日本周産期メンタルヘルス学会最優秀ポスター賞）の創設の趣旨

2003年（平成15年）12月に日本周産期メンタルヘルス学会の前身である研究会が岡野禎治先生（前三重大学教授）を理事長として発足し、およそ18年の歳月が経過しました。この間、2004年11月に第1回日本周産期メンタルヘルス研究会が開催され、2014年には学会として改組され今日に至っています。

創設以来、2019年3月までの長きにわたり理事長として本学会の運営に携わり、周産期の母子のメンタルヘルスに関連する領域の学術研究、調査研究、広報、啓発、その他必要な事業の推進に努めてまいりました岡野禎治先生のご功績に深い敬意を表し、感謝を込めて、2021年の第17回大会（笠井靖代大会長）より学会として岡野賞を創設することといたしました。岡野賞は、各大会のポスター発表の中から最優秀として選出された発表と発表者に対して、授与されるものであります。岡野賞の創設を機に、さらなる本学会の発展と、国内の周産期の母子のメンタルヘルス事業の充実を願っております。是非とも学会員の皆様には、岡野賞を目指して毎回の大会に積極的に参加していただき、意欲的で充実した内容を発表されますことを期待しております。

令和3年10月
理事長 鈴木利人